

いなむら市長の

「ひと咲き まち咲き あまがさき」

11月27日(火) 放送分

放送時間 8:00～、12:45～、16:00～

再放送 12/1(土) 17:00～

テーマ 「ワクワク百合学院 part2」

(百合学院高等学校 バスケットボール部・軟式野球部・チアダンス部)

〈市長〉 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。今回も、元気いっぱい、市内の高校生の皆さんによる番組をお楽しみいただきましょう。それではさっそくスタートです。どうぞ！

〈3人〉 みなさん、こんにちは！

〈古山〉 百合学院高等学校3年生の古山です！

〈大西〉 同じく3年生の大西と

〈福川〉 2年生の福川です。

〈古山〉 今日は、百合学院高等学校の取り組みを私たち3人のゆりっ子がお伝えする、題して「ワクワク百合学院 part2」をお送りします。どうして part2かということ、昨年この番組で part1 として百合学院高校のインターアクトクラブや特進コースの紹介をさせていただきました。今回は運動クラブで強化クラブにもなっているバスケットボール部と軟式野球部、チアダンス部の紹介をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

〈大西〉 まずはじめに百合学院の簡単な紹介をしたいと思います。百合学院高校は、尼崎市で唯一のカトリックの女子校で、同じ敷地内に幼稚園から高校まであり、今年で創立63周年を迎えます。

〈福川〉 百合学院は学校名に「百合」と入っているからか、少し近寄りがたいイメージを持たれることもありますが、学年を問わず先輩後輩の仲が良く、アットホームで家族みたいな学校です。

〈大西〉「百合学院」のイメージ通り、おとなしくて清楚な子もいますが、実は運動部も盛んで、元気いっぱいな生徒もたくさんいます。そんな運動クラブから、まずバスケットボール部の紹介を古山さんお願いします。

〈古山〉 はい！百合学院のバスケットボール部は「SuperSonics」っていうチーム名が付いているの知ってました？

〈大西〉 バスケ部のリュックに書いてあるやつやんね。スーパーソニックって「超音速」のこと？

〈古山〉 そうなんです。百合のバスケ部はとにかくスピードがあって走るバスケが特徴なんです。そしてチャンスがあれば誰でもいつでもシュートを打っていい。いや打たなきゃ叱られる。チームによっては打っていい人とか、打っていいタイミングとかあるんですが、うちは3ポイントシュートでもとにかくチャンスがあれば打てというチームなんです。

〈大西〉 超攻撃的バスケですね。

〈古山〉 そうなんです。それで去年は近畿大会ベスト16に入りました！

〈福川〉 すごいですね。古山さんは、どうして百合学院のバスケ部に入ったんですか？

〈大西〉 最初は私立に行くつもりはなかったんですよ。でも中学の先生に勧められて百合の練習に参加したら、とにかく先輩がいっぱい声をかけてくれて、練習の雰囲気も明るくいい雰囲気で、でもちゃんと練習をしていて、それで「ここにしよう」って決めました。

〈福川〉 練習に特徴はありますか？

〈古山〉 試合形式の練習の時は、自分たちでもっとこうした方がいいって意見を出し合って、後輩も意見を聞かれるし、先輩にも物が言える環境ですね。やらされているバスケじゃなくて自分たちでやるバスケです。それで練習の前後はめっちゃうるさい。でも先輩・後輩のけじめもある仲の良さです。

〈大西〉 でも、この前食堂で「センパイ、からあげくださーい」ってからあげとっちゃう後輩も目撃したよ。

〈古山〉 そういう後輩もいますね。

〈大西〉 練習終わってから毎日、皆でおにぎり食べてますよね。あれ羨ましいなあ。

〈古山〉 家が遠い人もいるし、保護者の方からの希望もあって、練習後の栄養補給として皆で食べます。馬鹿話をしたり、キャプテンたちは作戦会議をしたりもして、和気あいあいとした時間ですね。

〈福川〉 最後にバスケットボール部の今後の目標を教えてください。

〈古山〉 ズバリ、全国大会出場です！私はもう出場できないので、後輩たちにぜひ頑張ってほしいと思います。皆さんも、応援お願いします！

〈大西〉 ありがとうございました。続いて軟式野球部の紹介を福川さんお願いします。女子野球部って珍しいですよ？

〈福川〉 はい、特に女子軟式野球で学校にクラブがあるのは百合学院が関西で唯一です。

〈大西〉 へー、そうなんやー。どういう人が入部しているんですか？

〈福川〉 クラブチームでやっていた人とか、中学校で男子と一緒にやっていた人とか、中学時代はソフトボールをしていたとか、もちろん初心者の人もありますよ。

〈大西〉 福川さんは、野球をしていたんですか？

〈福川〉 いえ、私は初心者で中学から入部しました。

〈古山〉 どうして野球をしようと思ったんですか？

〈福川〉 姉が野球部だった影響もあるのですが、百合学院小学校時代にいつもグラウンドで野球部が練習しているのを見ていて、声もよく出て活気があるなと思ったのと、特にスポーツをしていなかったなので、どうせ初めてするなら珍しい野球がいいなと思ったんです。

〈大西〉 では、百合学院の野球部を紹介してください。

〈福川〉 野球部も学年の壁が無くてみんな楽しいことが大好きで、いつも誰かが面白いことを言って皆で笑っています。また、後輩も自分で気づいたら積極的に動くようにしているので、私たちも後輩から学ぶことは多いし、一人ひとりが自覚を持って行動するようにしています。

〈大西〉 そうなんですよ、体育祭のテント張りの時にも野球部の子って真っ先に動いて仕事をやるからいつも偉いなあと思ってたんです。

〈福川〉 「日本一の心の野球」を目指してますから。

〈古山〉 心の野球？

〈福川〉 顧問の三田先生はいつも「技術も大切だけど、野球ができるのは学校やお家の人のおかげだから、野球を通して成長することで周りにお返ししよう。そして何よりクラブ活動を通して、社会に出たときに使える力を培ってほしい」とおっしゃいます。

〈古山〉 なるほど。それで、みんなよく気が付いて動くんですね。それから、百合の野球部は試合の時に先生がサインを出さずに、バッターがサインを出すそうですね。高校野球とかプロ野球とかでも監督やコーチがバントのサインとか出しますよね？

〈福川〉 先生は「君らは先生のコマじゃない。野球をするのは君らやから、どんどん変わっていく状況を自分で判断して、今何が必要か考えることが大切だ」と言われます。私たちも、その方が自分で考えられるから楽しいし、先生がサインを出して失敗したらそれでおわりだけど、自分で判断して失敗したら何故失敗したんだろうとか、次はどうしたらいいだろうとか考えられるんです。そして、「自分の置かれている状況を判断して今必要なことをする」というのは、日常にも生かされて私たちの目指している心の野球にもつながるんです。

〈大西〉 ちゃんと考えられて偉いなあ。うちのクラブもいつも自分の頭で考えなさいって言われてます。

〈古山〉 では3つ目の強化クラブ、チアダンス部の紹介を大西さんにしてもらいましょう。チアダンス部めっちゃ活躍してますよね。校舎の垂れ幕にも、全国大会出場とか全国大会優勝とかしょっちゅう出てますよね。

〈大西〉 古山さんは、いつも応援してくれてて、応援動画を送ってくれたりしてくれてありがとう！おかげでこの夏も中学・高校ともに全国大会に出場できました。中学は部門優勝、総合3位の成績でした。

〈古山〉 すごいなー。

〈大西〉 百合学院のチアダンス部も「Lilies」というチーム名が付いてるの知ってました？

〈古山〉 いっつも演技の終わりに「Go!Lilies!」って言ってるやつね。

〈大西〉 そうそう、あれです。百合の花がLilyだから「Lilies」です。

〈古山〉 大西さんは、高校からゆりっ子ですが、どうして百合学院のチアダンス部に入ったんですか？

〈大西〉 よそでは先輩からしか教えてもらえない学校もあるんですけど、百合では先生から丁寧に教えてもらえるのと、やっぱり練習に参加したら部員の人たちがオープンでフレンドリーだったのが決め手ですね。

〈福川〉 女子校って抵抗なかったですか？

〈大西〉 入学前は、女子校ってギスギスしている先入観があったし、百合のイメージは「ごきげんよう」という感じのお嬢様学校かと思ってたので大丈夫かなと心配だったんです。

〈古山〉 で、入学してみたら…

〈大西〉 明るくてはっちゃけた子もいっぱいいました。

〈福川〉 では「Lilies」について紹介してください。

〈大西〉 はい、チアダンス部もバスケ部や野球部と同じように、上級生と下級生の仲がいいです。うちは、中学と高校で別のチームでもありますが、基礎練習などは一緒にするし、あるときはライバルでもありますが、中学生はやっぱりかわいいしホントに仲がいいですね。私の引退試合の前には中学生も合わせて後輩たちが、サプライズで歌を歌ってくれて、もうみんなで号泣しました。

〈福川〉 この先輩・後輩関係なく仲がいいのは百合の共通の特徴ですね。クラブとしての特徴は何ですか？

〈大西〉 先輩後輩関係なく、全員がコメントを求められます。

〈福川〉 どういうことですか？

〈大西〉 練習中に二人組をつくって、交代で「こういうところを直した方がいい」ということを先輩に対しても言うし、全員が踊っているのを交代で一人が見てコメントを言う。これは上級生の役割とは限りません。1年生が全体を見てコメントを言うこともあり、そこに上下関係はありません。もちろん先輩に会ったら挨拶をしたりのけじめはあります。

〈古山〉 大西さんは、この夏までキャプテンをしていましたが、どんなことに苦労しましたか？

〈大西〉 私の学年は少なくても2人だけだったんです。それで沢山の後輩をどうまとめるかすごく悩みました。それに私はなかなか後輩に厳しく叱ったりできなくて、どうしたらキャプテンとして信頼されるかいろんな人に相談しました。全国に行けるかのプレッシャーもあったし。

〈福川〉 全国に行くようなチームをまとめるってたいへんなんですよね。

〈大西〉 結局、急に怖い先輩にもなれないし、ありのままにいろんな人に助けをもらいながらやりました。プレッシャーをはねのけて無事に全国大会にも行けてよかったです。

〈古山〉 大西さんありがとうございました。どのクラブももちろん練習は厳しいところがいっぱいあるし、顧問の先生も3人とも厳しいです。でも、3人の顧問の先生に共通しているのが、熱く愛情をこめて叱ってくれるところですね。だから皆ついていくし、個人も

チームも強くなる。

〈大西〉 そうですね。3年終わって本当に顧問の先生には感謝しています。

〈福川〉 百合学院にはこのほかにも楽しいクラブがいっぱいあります。運動部は、バドミントン部・テニス部・卓球部。文化部が、アンサンブル部・フォークソング部・演劇部・美術部・書道部・文芸部・家庭科クラブ・そして前回ご紹介したインターアクトクラブです。

〈大西〉 さて、ここまでお送りしてきました「ワクワク百合学院 part2」いかがでしたでしょうか？3月24日に行われるカエルキャラバンは小さい子供たちを対象に、おもちゃの交換もできる防災イベントですし、5月の「ゆりっ子バザー」も誰でも来ていただける行事です。また月1回お隣の修道院で開かれる子ども食堂は、百合学院の理事長先生がやっています。是非一度お気軽に足をお運びください。それではみなさん。

〈3人〉 ごきげんよう。

〈市長〉 いかがでしたか？ それでは、次回の放送もお楽しみに！

以 上